

酸性の物質（酸性雨、鳥糞、樹液） などによるダメージについて



近年お客様の問い合わせで一番多いのが、「**塗装面やガラスに付いた雨染みが取れない!**」
と言う声です。これはコーティングの有無に関係なく付いてしまいます。
特に濃色車（黒、紺）に多いです。



ウォータースポット

これらは近年問題視されている酸性雨がイオンデポジット、酸性クレーター、ウォータースポットなどと言われる物により様々な現象を引き起こしてしまう為です。もちろん車も例外ではありません。これらの現象から愛車を守る為にボディコートが存在します。しかし完全ブロックできる物質（コーティング剤）が残念ながらありません。その為、少しでもお客様の愛車が長期間深い艶と輝きを保つ為に、是非知っていただきたく作成しました。

1 イオンデポジット

一番多いのがイオンデポジットです。これは、水(雨水、水道水)に含まれる汚染物質や、不純物等の物質が塗装の表面に残りシミとなった物でウォータースポットのように陥没はしませんが、硬化してしまうとなかなか取れなくなってしまいます。

2 酸性クレーター

イオンデポジットや、鳥糞、樹液、虫の死骸、糞などを放置してしまうと、**クレーター状の凹み**(塗装が溶けている状態)を作ってしまう、完全な修復が不可能になってしまいます。

3 ウォータースポット

雨上がりや直射日光下の洗車時などに塗装の上に残った水玉がレンズ(虫眼鏡)効果をしてしまい太陽の光熱や紫外線によって焼付き白く**陥没したシミを残す**現象です。但し近年では、高品質な塗装に少しずつ進化し、この現象は少なくなりました。

どれも放置すると塗装に良くない事ばかりですが、これらの現象から愛車を守るには炎天下をさげ、日陰などの涼しい所でこまめに洗車する（ワックス必要なし）事が1番だと考えます。又これらの症状が出来てしまい、お客様自身でどうにもならない場合には有料になりますがメンテナンスコースをご用意しています。早めにご相談ください。



株式会社 ブラボーカンパニー